

令和4年度岩手県農政審議会生産流通部会 会議録

日時 令和4年11月17日(木)

場所 盛岡市総合福祉センター1階会議室

1 開会

2 あいさつ

佐々木農産園芸課総括課長があいさつを述べた。

3 部会長選任

委員の互選により、笹木龍太郎委員を部会長に選任。

4 報告事項

(1) 佐々木農産園芸課総括課長から岩手県野菜生産振興計画について説明

【質疑・意見等】

○ 五日市達洋委員

概要の現状と課題4の新規就農者という言葉と、計画の素案5ページにある新規栽培者の確保という文言があるが、同様の意味か。

○ 佐々木農産園芸課総括課長

新規就農者に加えて新規栽培者も確保していきたいという意図。まだ素案のため精査は必要だが、量を確保していきたい考えから、新しく就農する方と、これまで水稻等を栽培してきた生産者が新たに野菜に取り組む部分を記載している。

○ 高橋弘美委員

地域の情報交換が少ない。近くで新しいハウスが立っても一人で始まり、隣人との競争等が生まれない。

自分も露地でピーマンをはじめ産直等に出したが、周りに仲間を作って情報交換すればよかったと思う。情報をもっと発信すればよかった。JAが野菜部会を育てようという意識が欲しい。地域では個々で頑張っているが、地域の強味を活かしてもっと連携していけばもっと良いものができると思う。

○ 佐々木農産園芸課総括課長

一つ一つの大きな経営体も必要だが、生産部会を核とした全体での強みを確保していくことが必要と考える。仲間と一緒に情報を共有していくような取り組みを進めていきたい。

(2) 佐々木農産園芸課総括課長から岩手県花き生産振興計画について説明

【質疑・意見等】

○ 高橋弘美委員

生産者、特に後継者世代など頑張っている生産者のためにも、花きの利用拡大に向けてフラワーフェスティバルの宣伝をして、いろんな方に花を頑張っているということを伝えてほしい。市場でも工夫して高く買っていてほしい。消費の部分で支援できるようにしていきたい。

○ 坂田園芸特産担当課長

去年まではフラワーウィークで1週間の開催だったが、今回は1か月間に期間を延長して開催した。花の消費は全国的落ちているが、利用拡大に向けてこれからも続けていきたい。

○ 磯田朋子委員

フラワーフェスティバルについて知らなかった。よい取組だと思うのでPRをお願いしたい。

花の生産量はピークから半分とあるが、計画の素案で輸入量が増加しているとあるが、それが影響しているのではないか。なにか関係性があれば教えてほしい。

地域特産品目という記載があるが、どのような意味か教えてほしい。

○ 坂田園芸特産担当課長

輸入が増えている背景として、国内の生産者が高齢になり生産量が落ちていることが考えられるが、最近では、新型コロナウイルス感染症等の影響で輸入量が落ちている現状もある。輸入が落ちているという状況の中で、むしろ国産を回復したいという意味も込めて、フラワーフェスティバルを開催しPRを行うとともに、生産を頑張りたい。

地域特産品目に関して、岩手県では主力のりんどうが生産の6割を占めている。それに続くものとしてユリやトルコギキョウなどが続く。りんどうに次ぐ、各地域で拡大しようとしている特色のある品目を地域特産品目と記載した。

今後、言葉の意味が分かるように補足する。

5 その他

6 閉会